



読字原田 鏡

No. 693

2013/2/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区湯島
新1-1-1 1F

日中友好協会
岡山支部
〒730-8256
岡山県岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4 (宮地方)
TEL/FAX:086(445)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



憲法への思いを語ろう！

はじめに

昨年12月の衆議院選挙で憲法改正(改憲)をかかげる議員が多数当選した。朝日新聞(1月28日付)に次のような記事が載った。

重擁護義務(九十九条)を定めている。それだけに現職首相が国会で、改憲を明言するのは極めて異例で、看過できない。

日中友好協会岡山支部は、日中不再戦は、憲法九条を生かす道との立場で日中友好運動を進めてきた。今後またとない機会では少数であっても、草根の運動を通して国民と結びつき憲法を守り、生かし、世界に広げ、憲法改正を許さない取り組みに一層の力を入れていきたい。

衆議院議員の89%が改憲に賛成し、集団的自衛権の行使を容認する議員が全体の79%を占めている。一方で、有権者の改憲賛成は50パーセントで、議員と有権者の間に大きな開きがある。」

開会中の国会で安倍首相は、まずは憲法九十六条の改正に取り組んでいくと繰り返し答弁している。現行憲法では、国務大臣に対して 憲法尊

憲法とともに歩む人生(その1)

憲法が生まれた時代背景

私は一九四二年(昭和一七年)九月、旧満州国東安省林口県竜爪村岡山日の出屯(竜爪開拓団・現在の中国東北地方)で生まれた。

四五年八月一〇月、敗戦前後の混乱の中三才の私は、臨

の命で亡くなった。両親と別れ中国大陸に遺棄され、中国人に育てられた幼子が中国 残留日本人孤児」である。

日本の軍国主義者は、中国をはじめとするアジア諸国への侵略戦争(アジア・太平洋戦争)によって、アジアで二千万人以上、日本では三一〇万人の人命を奪った。私の弟や中国 残留日本人孤児も戦争の犠牲者である。

私は一九四六年一〇月、親子三人で無事日本へ帰国した。四歳であった。

日本国憲法は、こうした時代背景のもとに生まれ、四十六年十一月三日に公布され、四十七年五月三日に施行された。

日本での生活は、憲法とともに始まったといっても過言ではない。実に六七十年の長い付き合いになっている。

主なものを年代順に記している。(次号では幼稚園から大学卒業まで)

日中友好協会岡山支部
事務局長 小林軍治



岡山県地域人権問題研究会2013に参加して



で基調講演がありました。

政権に復帰した自民党が、日本国憲法改正案」なるものによる、危険な動きが話されました。

午後からは6つの分科会に分かれて、それぞれのテーマで学習しました。私は第6分科会 平和・環境・エネルギー」に参加しました。印象に残ったのは 木村式自然栽培のお米づくりについて」でした。

肥料も農薬も使わず米を作る、これには新鮮なショックを受けました。日本は小さな国なのに世界一多くの農薬を使うそうです。アメリカでは種苗会社の利益を守る為に、農家が種を採取することを禁止しているそうです。



終わりと始まり

沖縄 根拠なき負担 竹内

2月9日の 朝日新聞」に池澤夏樹さんの論説がのつた。

一読して そのとおり、メディアのひどい状況に抗して、よくお書きになった。」と感激。沖

縄の41の市町村全部から首長、議長、県議百四十人が上京して訴えたのに、かれらの声は届かない、一都一府四十二県、また本土のメディアの多くはこれを

完全に無視している。オスプレイの配備で沖縄人が怒っているのは、日米両方の政府があからさまに嘘をついているからだ。沖縄の子供たちの命はそこまで軽いのか。これくらい負担は当然、という思い込みが一都一府四十二県の側にある。以上抜き書きです。読んでみてください。

日本語教室の原点を知る — NHKテレビを見て —

1月29日の夕方、何気なく見ていたNHKテレビで、特集『高齢化に悩む中国残留孤児』が放映された。

そこに映し出されている女性を見て驚いた。はなちゃんのお母さんだ！

残留孤児であるご主人とともに日本に帰国されて間もない頃、出会ったTさんだった。ごうされているのだろう」と気になるままに時が過ぎていた。聞けば2、3年前にご主人を亡くされ、現在は団地で一人暮らしという。いまだ日本語がほ

とんど話せず地域のひととの交流もなく、テレビを見て一日過ごすことが多いそうで、少し恥ずかしそうに「きびしい」とつぶやく画面のTさんはあの頃のままだった。

岡山市の自立支援員としてTさんを訪問し、相談にのっておられたのは船越美智子さん。手弁当で通訳や帰国者の住まい・職探しに長年奔走されてきたという船越さんもすでに84歳だそう。34年に及ぶ支援活動の原点は自身も中国帰国者というこ

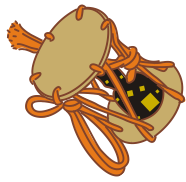
とだった。どうしてこれほどに？」との記者の問いに船越さんは「これが戦争の後始末ということでしょうか」と答えられていた。

偶然にも、その日の午前、私は高島日本語教室で、残留孤児の高杉さんを囲んでお話をしていた。残留孤児裁判を闘って来られた高杉さんは、今の支援法では、もし残留孤児の夫がなくなつた場合、残された奥さんへは何の支援もありません。ご主人がなくなつて大変苦労されている方もいます。私たち残留孤児にとって一番の恩人は養父母ですが、次に大事な恩人は配偶者です。その配偶者がもし何かがあつても、安心して生活できるようにと、今政

ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか？

37

竹内和夫



ヨツガナのこと

A: 前回の拍数の言語による差には、おどろいたな。オとヲはおなじ拍というのは、そのとおりに思うけれど、わりきれない。字=音は、まちがいなんだな！

B: むかしはエとエ、イとキなど、ちがった音だったの？
《そうだよ》

C: ジとヂ、ズとヅがいっしょになったのは、いつごろのことですか？

《江戸時代に『蜷縮涼鼓集』(元禄8年、1695)ケンシュクリョウコシュウという書物がある。発音のことを書いた本で、シジミとチヂミ、スズミとツヅミの区別を教える本。富士はフジ、藤はフヂで区別があつたが、いまは、もうないだろう。土佐方言に残っていたらいいが。方言の生き証人がいなくなるのは残念だ。ローカル放送など、もっと方言を出した方がいいと思うが》

つづく

湯原温泉でスッポン料理

1月17日医療生協瀬戸支部の仲間7人で湯原温泉の郷緑館にスッポン料理を食べに行きました。

まず最初にスッポンの血の入った食前酒が出ます。続いてスッポンの卵、スッポンのえんがわ、あえもの、そして刺身、スッポン鍋と熱燗のお酒をいただきながら、最後は雑炊です。そのうまいこと思わず余計に食べてしまいました。

外は雪が降りはじめ、雪景色の美しいこと。その後、この宿の天然岩盤から湧き出る秘湯で温まりました。

帰りは積雪のために湯原温泉郷を出るまでに往生しました。

日中岡山理事 河井伸士



2013年春節パーティに参加

黄 艶萍

府に対して運動しているところ。と熱く語られた。支援員の船越さんのことも話題になった。

「高杉さんのお話とテレビの内容とあまりの偶然に驚き、且つうれしかったが、戦争のあと始末」という船越さんの言葉が心にしみ、私が日本語教室を始めた原点もまさにそこにあったんだと再認識させられた。

成田宣子

いつも新聞をお送りいただきありがとうございます。

今年の旧正月は、日本で過ごすことになりました。

久しぶりに1年後日本に戻り、総理大臣が変わつたこと以外、感じた変化が少くないです。

日本にいる旧正月の日に、岡

山国際交流センターで春節の祝いパーティに参加しました。

パーティは、日本語弁論大会、カラオケ大会、抽選会などたくさんの行事があり、200人以上の在日中国人・日本人が参加、賑やかでした。

弁論大会の参加者の中に、

来たばかりの技能実習生や、来日6年の家庭の主婦や、9年の博士など、さまざまでした。来日5か月の王楽さんの話が印象的でした。

日本語がまだ上手とは言えないが、彼女の明るさと、将来のため一生懸命頑張る姿勢に、感動を受けました。将来は力強い人になり、親孝行をしたいです。彼女は最後にこう言いました。

次のカラオケ大会も軽快な雰囲気の中で進みました。

中国人が日本語の歌、日本人が中国語の歌を歌いました。

日本人のカラオケ店経営の谷美由紀さんは、テレサ・テンの「情人的關懷」を披露しました。さすがカラオケの店長さんです。ねと皆感動しました。

今回のパーティの参加で、感じたこと:

日本にたくさん中国人がいます。中国好きの日本人もたくさんいます。

彼たちは日中友好の架け橋になつていきます。

私も日本と深い縁があります。日中友好のため、微小でも良いが、私なりの力で貢献していかないとけません。

次回の新聞送付作業は2月21(木)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林 和
竹内 製
坪井